

第1号議案

平成27年度事業報告

協会の目的である産業廃棄物の適正な処理及び再生利用の普及、拡大及び定着を促進し、並びに産業廃棄物処理業を振興することによって、公衆衛生の向上、生活環境の保全及び循環型社会の構築を図り、もって県民の福祉の向上に寄与するため、事業計画に基づき、次のとおり事業を実施した。

自主事業部門（継続事業1）

1. 調査研究事業

- ① 随時、会員に法改正・行政施策の各種印刷物等の配布及び委員会・部会・講演会等を通じ、情報提供を行った。
- ② 産業廃棄物管理票（マニフェスト）について情報提供を行った。
- ③ 「ヒヤリ・ハット」事例の収集を継続的に行っており、平成27年11月までに収集した事例をホームページ及び会報（2016冬号）に掲載した。

2. 研修事業

（1）協会独自の研修会等

① KYT（危険予知訓練）研修会

開催日 平成27年10月2日（金）

場 所 千葉県ビジネス支援センター（きぼーる）

参加者 48名

講 師 中央労働災害防止協会 関東安全衛生サービスセンター

専門役・安全管理士 佐藤 友重 氏

専門役・安全管理士・安全衛生士 須田核太郎 氏

② 普通救命（AED）講習会

開催日 平成28年2月26日（金）

場 所 千葉県経営者会館

参加者 18名
 講師 (公財) 千葉県防災普及公社 2名

③ 食品廃棄物適正処理推進研修会

開催日 平成28年3月23日(水)

場 所 京葉銀行文化プラザ

参加者 44名

内 容 講演

- ・「排出事業者責任と処理業者責任について」
 阿部記念法律事務所 所長
 弁護士・博士(法学) 阿部 鋼 氏
- ・「廃棄食品の適正処理に係る留意点及び千葉県の指導状況等について」
 千葉県環境生活部 廃棄物指導課
 副課長 強口 英行 氏
 監視指導室 主幹 江畑 嘉臣 氏

(2) 許可申請に関する講習会等

(公財) 日本産業廃棄物処理振興センターが実施する平成27年度許可講習会等について、受付業務及び運營業務を通じて開催に協力した。

① 産業廃棄物処理業の新規許可申請に関する講習会

課 程	開 催 日	会 場	受講者数
収集運搬	平成27年7月28日(火)～29日(水)	千葉県自治会館	140名
処 分 収運(同時)	平成27年11月10日(火)～13日(金)	千葉県自治会館	41名 69名
収集運搬	平成27年12月8日(火)～9日(水)	千葉県自治会館	109名
収集運搬	平成28年3月15日(火)～16日(水)	千葉県自治会館	141名

② 産業廃棄物処理業の更新許可申請に関する講習会

課 程	開 催 日	会 場	受講者数
収集運搬	平成27年4月22日(水)	千葉県自治会館	140名
処 分 収運(同時)	平成27年5月27日(水)～28日(木)	千葉県自治会館	57名 85名
収集運搬	平成27年6月30日(火)	千葉県自治会館	140名
収集運搬	平成27年8月27日(木)	千葉県自治会館	137名

課 程	開 催 日	会 場	受講者数
収集運搬	平成 27 年 12 月 10 日 (木)	千葉県自治会館	99 名
収集運搬	平成 28 年 1 月 28 日 (木)	千葉県自治会館	142 名
収集運搬	平成 28 年 3 月 18 日 (金)	千葉県自治会館	145 名

③ 特別管理産業廃棄物処理業の新規許可申請に関する講習会

課 程	開 催 日	会 場	受講者数
処 分 収運(同時)	平成 27 年 6 月 22 日 (月) ~26 日 (金)	千葉県自治会館	12 名 55 名

④ 特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会

開 催 日	会 場	受講者数
平成 27 年 4 月 21 日 (火)	千葉県自治会館	123 名
平成 27 年 6 月 12 日 (金)	千葉県自治会館	140 名
平成 27 年 7 月 30 日 (木)	千葉県自治会館	139 名
平成 27 年 8 月 28 日 (金)	千葉県自治会館	138 名
平成 27 年 12 月 11 日 (金)	千葉県自治会館	122 名
平成 28 年 1 月 27 日 (水)	千葉県自治会館	94 名
平成 28 年 3 月 17 日 (木)	千葉県自治会館	83 名

(3) その他研修

(公社) 全国産業廃棄物連合会が主催した「産業廃棄物処理実務者研修会－基礎コース」の開催に協力した。

開催日 平成 27 年 8 月 19 日 (水)

場 所 千葉県自治会館

参加者 95 名

内 容 ・ 産業廃棄物処理の基礎
 ・ 産業廃棄物の委託処理と委託契約
 ・ 産業廃棄物管理票 (マニフェスト)、帳簿

講 師 (公社) 全国産業廃棄物連合会 講師 木村 光政 氏

(公社) 全国産業廃棄物連合会 講師 田尾 利光 氏

3. 適正処理及びリサイクル等普及推進事業

(1) 相談指導事業

① 産業廃棄物の適正処理のため、電話等による相談に応じた。処分先の間合せに

については、協会ホームページの「業者検索システム」を活用し会員処理業者を斡旋した。

② 各種許可、届出手続き等について、随時相談に応じた。

(2) 広報啓発事業

① 安全に対する意識を高めるために「安全標語」の募集を行ったところ、54名(143作品)の応募があった。入賞作品を公開し、最優秀作品は、協会の各種広報活動に使用した。

② 「千産廃協会報」(2015 夏号、2016 冬号)を発行し、会員、関係官公庁、各種団体、各都道府県協会、排出事業者等に配布し、協会の活動状況、関係行政機関の通達、産業廃棄物処理に関する情報提供を行った。

③ 協会ホームページの「業者検索」「業者地図検索」を刷新し内容を充実させ、また会員に許可状況等についてアンケートを実施し、排出事業者等に最新の情報提供を行った。【URL : <http://www.chiba-sanpai.or.jp>】

④ 千葉県環境生活部廃棄物指導課等監修による「産業廃棄物処理業の手引き その24」を産業廃棄物処理業者及び排出事業者等に頒布した。

⑤ 千葉県環境生活部廃棄物指導課監修による「産業廃棄物収集運搬業許可申請等の手引き」を許可申請者に有償頒布した。

⑥ 日本建設業連合会等発行「建設廃棄物処理委託契約書」等、出版物を有償頒布した。

⑦ 各種新聞、刊行物への広告及び掲載記事等を通じた協会活動の宣伝啓発を行った。

⑧ 第10回夏休みエコ絵画コンクールに協賛した。

⑨ 「エコメッセ2015in ちば」に協賛、出展した。

開催日 平成27年9月23日(水・祝)

場 所 幕張メッセ国際会議場

内 容 廃棄物を利用した万華鏡作り、廃油を使ったキャンドル作り

⑩ 第15回千葉県廃棄物適正処理推進大会

千葉県廃棄物適正処理推進大会に実行委員会の一員として参画した。

開催日 平成28年2月5日(金)

場 所 千葉市文化センター「アートホール」

内 容 特別講演 「～隣の晩ごはんから見る～地球にやさしい暮らし方」
ヨネスケ 氏(落語家・タレント)

表彰式典 当協会からは下記の6名が表彰された。

千葉県循環型社会形成推進功労者表彰

『千葉県知事感謝状』

- ・(株)日美産業 山本 隆 氏
- ・(株)市川環境エンジニアリング 西川 浩 氏

『千葉県環境生活部長感謝状』

- ・(株)富澤商店 富澤 洋 氏
- ・千代田鋳研(株) 坂口 浩 氏
- ・(株)京葉興業 鈴木 義弘 氏
- ・(株)共同土木 渡辺 正美 氏

参加者 266人

主催 千葉県廃棄物適正処理推進大会実行委員会

(構成員) (一社) 千葉県産業廃棄物協会・千葉県環境衛生促進協議会・
千葉県産業廃棄物処理業協同組合・(一財) 千葉県環境財団・
(一社) 千葉県環境保全協議会・(一社) 千葉県建設業協会

後援 千葉県、千葉市、船橋市、柏市

⑪ 県民講座として、一般県民を対象とした施設見学会を開催した。

開催日 平成27年11月17日(火)

場所 ・市原グリーン電力(株) バイオマス発電施設
・エム・エム・プラスチック(株) プラスチック再資源化施設

参加者 30名

(3) 産業廃棄物管理票(マニフェスト)等普及推進事業

- ① (公社) 全国産業廃棄物連合会発行の産業廃棄物管理票及び建設六団体副産物対策協議会発行の建設系産業廃棄物管理票を有償頒布した。その他、「マニフェストシステムがよくわかる本」、「建設系廃棄物マニフェストのしくみ」を有償頒布し産業廃棄物管理票の普及と適正処理の推進を図ったほか、記載方法等の問い合わせに応じた。

・マニフェスト頒布数

『産業廃棄物管理票』

直行単票	113,570セット(前年度:136,670セット)
直行連続	173,500セット(前年度:180,000セット)
積替単票	4,110セット(前年度:1,710セット)
積替連続	8,500セット(前年度:9,000セット)

計	299,680セット（前年度：327,380セット）
『建設系産業廃棄物管理票』	
建設単票	173,480セット（前年度：210,260セット）
建設連続	175,500セット（前年度：224,500セット）
計	348,980セット（前年度：434,760セット）
合計	648,660セット（前年度：762,140セット）

- ②（公社）全国産業廃棄物連合会と電子マニフェスト運用支援業務委託契約を締結し、契約に基づき、支部会議、産業廃棄物処理業者セミナー等でパンフレットを配布するなど電子マニフェストの普及、拡大を図るとともに、電子マニフェスト導入説明会を実施した。

開催日	平成28年2月18日（木）
場所	千葉県自治会館
参加者	79名
内容	・早わかりムービー映写 ・電子マニフェストの概要説明
講師	（公財）日本産業廃棄物処理振興センター 情報処理センター 業務推進部部長代理 山岡 亮一 氏

（４）災害廃棄物処理支援

これまで、災害協定に基づく支援要請はない。また、市町村からの直接の要請もない。

4．環境保全対策事業

不法投棄等の不適正処理による支障除去に対する支援等については、該当事案がなく、実績はない。

5．その他事業

（１）行政協力

- ①（公社）全国産業廃棄物連合会を經由して主に環境省から提供される行政情報を、協会ホームページに掲載し又は直接会員等に配布して、情報提供を行った。
- ② 千葉県廃棄物指導課とは、適宜各種会議に担当者の出席を得るなど日常的に意思疎通を図った。
- ③ 災害廃棄物をはじめ千葉県・東京都間の廃棄物の広域処理について協議するため、千葉県環境生活部・東京都環境局・東京都産業廃棄物協会・千葉県産業廃棄物協会

の4者で定例的な会合の場を設け、本年度は6月29日に千葉県で開催した。

④ 行政懇談会

産業廃棄物の適正処理を推進するため、日常から行政に協力するとともに、千葉県及び3市と行政懇談会を開催した。これに先立ち12月3日に正副会長が、千葉県知事宛てに要望を行い、行政懇談会の席上ではこれらの項目について意見交換を行った。提案要望及び協議した事項は次のとおりである。

- | | |
|-----|---|
| 開催日 | 平成27年12月16日(水) |
| 会場 | ホテルポートプラザちば |
| 参加者 | 33名 |
| 内容 | ○千葉県廃棄物処理計画について
○意見交換
ア. 行政と業界の協力体制の構築について
イ. 最終処分場について
ウ. 建設リサイクルの促進について
エ. 放射性物質に汚染された廃棄物の取り扱いについて
オ. 災害廃棄物処理について
カ. その他 |

(2) 社会貢献

一般県民に対しゴミの減量化やリサイクルへの関心を高める機会を提供し、環境保全に関する知識の普及及び次世代を担う子供たちへの環境学習の推進を図ることを目的とした「親子でウォークラリー環境学習体験会」を開催した。

- | | |
|-----|---|
| 開催日 | 平成27年10月24日(土) |
| 会場 | ふなばし三番瀬海浜公園 |
| 参加者 | 小学生親子54名 |
| 内容 | ○環境学習体験会
ア. 施設見学
船橋市南部清掃工場
株ハイパーサイクルシステムズ
イ. ゴミ回収車両の展示(ゴミの投入を実体験)
○ウォークラリー
○スポーツ交流(親子でドッジボール) |
| 主催 | (一社)千葉県産業廃棄物協会 |

後 援 船橋市、船橋市教育委員会、(公財)船橋市公園協会
企画運営 (一社)千葉県産業廃棄物協会 青年部会

受託事業部門(継続事業2)

<県内産業廃棄物処理業者育成事業>

1. 産業廃棄物処理業者セミナー業務(千葉県・千葉市・船橋市・柏市委託事業)

産業廃棄物処理業者セミナーを、下記のとおり実施した。

開催日 第1回 平成27年 9月 3日(木)

第2回 平成28年 1月14日(木)

場 所 青葉の森公園芸術文化ホール

内 容 「立入検査における指導状況と廃棄物処理を行う際の注意点について」

講 師:(第1回)千葉県環境生活部 廃棄物指導課

監視指導室 副主査 渡邊 優一 氏

(第2回)千葉県環境生活部 廃棄物指導課

監視指導室 副主幹 山本 徹 氏

「優良産廃処理業者認定制度について」

講 師:千葉県環境生活部 廃棄物指導課

産業廃棄物指導室 主 査 西田 寛子 氏

「産業廃棄物適正処理に関する通知について」

講 師:千葉県環境生活部 廃棄物指導課

指導企画班 副主査 矢田 晃 氏

「予防安全活動展開の勧め ～日常業務の潜在リスクを収集～」

講 師:(第1回)㈱安全マネジメント研究所

代表取締役所長 石橋 明 氏

(第2回)㈱安全マネジメント研究所

客員 研究員 加藤 豊 氏

参加者 第1回 512名

第2回 254名

2. 許可申請に係る相談業務

産業廃棄物収集運搬業(積替・保管を除く)の新規・更新・事業範囲変更の許可申請に

係る相談、優良認定制度に係る相談を実施した。

許可申請に係る相談時に、「産業廃棄物管理票（マニフェスト）Q&A」（平成27年4月改訂版）を配布し、適正処理とコンプライアンスの確保を呼び掛けた。

- ・新規許可に関する説明会 24回開催 出席者 36名
- ・新規許可申請 645件進達 延べ 1,006件相談
- ・変更許可申請 160件進達 延べ 241件相談
- ・更新許可申請 1,134件進達 延べ 1,562件相談
- ・変更届出書 734件進達 延べ 933件相談
- 合計 2,673件進達 延べ 3,742件相談
- ・産業廃棄物処理業者の評価制度に係る相談 40件
- ・更新手続きの通知 1,776件

県収入証紙売捌き事業部門（収益事業）

産業廃棄物処理業許可申請に当たって県に手数料を納付する申請者の便宜を図るため、県から「県収入証紙売捌き所」の指定を受けて、県収入証紙を購入して、有償頒布（売捌き）をした。

法人管理等部門

1. 委員会、部会及び支部等の活動

廃棄物処理関係法令などの改正並びに業界の環境変化に迅速的確に対処し、会員の意見や要望に応え得るよう、それぞれの問題について協議するため次のとおり開催した。

（1）委員会

ア. 総務企画委員会

平成28年度事業計画及び予算について、現状に対応した内容の見直しを検討した。

イ. 広報研修委員会

本年度の研修事業計画について協議し、産業廃棄物処理業者セミナーのカリキュラム等について検討を行ったほか、県外視察研修を実施した。

ウ. 適正処理推進委員会

優良事業所並びに優良従事者の選考、第15回千葉県廃棄物適正処理推進大会における被表彰候補者の選考を行った。

エ. 安全衛生推進委員会

安全衛生研修事業、ヒヤリ・ハット事例の収集および労働安全に関する表彰の選考について協議し、事業を実施した。

オ. 法制度対策委員会

部会・支部会議等の議論を踏まえ、廃棄物処理法の見直しに関する意見を(公社)全国産業廃棄物連合会に提出した。

カ. 処理料金調査特別委員会

千葉県内の建設系廃棄物処理料金調査を行った。

(2) 部 会

① 収集運搬部会

開催日 平成27年10月8日(木)

場 所 京葉銀行文化プラザ

参加者 26名

内 容 ・講演「地球温暖化対策について」
～国内外の動きと産廃処理業界の取組～
講師：(公社)全国産業廃棄物連合会
事業部 主査 横山 大志 氏
・意見交換
法改正に関する意見・要望について
行政等に対する意見、要望について
その他

② 中間処理リサイクル部会

開催日 平成27年10月8日(木)

場 所 京葉銀行文化プラザ

参加者 29名

内 容 ・講演「地球温暖化対策について」
～国内外の動きと産廃処理業界の取組～
講師：(公社)全国産業廃棄物連合会
事業部 主査 横山 大志 氏

・意見交換

法改正に関する意見・要望について
行政等に対する意見、要望について
その他

③ 建設廃棄物部会

開催日 平成27年10月8日（木）

場 所 京葉銀行文化プラザ

参加者 22名

内 容 ・「建設リサイクル推進計画2015（関東地域版）」の概要について
・意見交換
建設廃棄物を取り巻く環境について
法改正に関する意見・要望について
行政等に対する意見、要望について
その他

このほか、混合廃棄物分科会を開催し、意見交換をした。

④ 医療廃棄物部会

開催日 平成27年10月20日（火）

場 所 協会会議室

参加者 12名

内 容 ・講演「感染性廃棄物の事故をどう防ぐか？」

～感染性廃棄物適正処理と排出事業者責任～

講師：東京臨海リサイクルパワー(株) 顧問

有害・医療廃棄物研究会 理事、元・日本医師会

原田 優 氏

・意見交換

法改正に関する意見・要望について
行政等に対する意見、要望について

・その他

⑤ 最終処分部会

開催日 平成27年10月20日（火）

場 所 協会会議室

参加者 19名

内 容 ・意見交換

最終処分場の安定操業に関する指導について
富津最終処分場（千葉県まちづくり公社）の受入再開について
法改正に関する意見・要望について
行政等に対する意見、要望について
その他

⑥ 賛助会員建設部会

ア. 総 会

平成27年7月7日、千葉スカイウインドウズ東天紅において、平成27年度総会を開催し、平成26年度事業報告、平成27年度事業計画、役員を選任について承認された。

議事終了後、講演会及び意見交換会を開催した。

○講演「建設副産物（建設汚泥・残土・汚染土壌）の取扱いについて」

講師：千葉県環境生活部 環境対策監 生駒 昌弘 氏

千葉県環境生活部 水質保全課

地質環境対策班 技 師 亀山 瞬 氏

千葉県環境生活部 廃棄物指導課

指導企画班 副主査 大島 史寛 氏

○意見交換「建設廃棄物の適正処理に向けて」

イ. 正・副部会長会議

・第1回 平成27年6月2日（火）協会役員室

・第2回 平成27年9月2日（水）協会役員室

ウ. 施設見学

開催日 平成27年12月2日（水）

見学先 館山道（上総湊）の天羽トンネル工事現場

（施工：五洋建設㈱東京土木支店）

所在地：千葉県富津市不入斗

（3）支部会議

支部における諸問題を協議し、会員相互の情報交換、意見交換を行い、行政当局に対する要望事項をまとめた。各支部とも会議終了後、出席者による懇親会を開催し、会員相互の親睦を図った。

① 中央支部会議

開催日 平成27年7月28日（火）

場 所 京葉銀行文化プラザ
参加者 32名

② 西支部会議

開催日 平成27年8月6日(木)
場 所 船橋グランドホテル
参加者 36名

③ 南支部会議

開催日 平成27年7月29日(水)
場 所 五井グランドホテル
参加者 55名

【共通議題】 ○講演

「産業廃棄物処理業の労働安全衛生の取組み」

講師：ジャパン・リサイクル(株)

取締役 山田 純夫 氏

○意見交換

- ア. 全国産業廃棄物連合会タスクフォース報告について
- イ. 廃棄物処理法の見直しについて
- ウ. 行政又は協会、法改正に対する意見・要望事項について
- エ. その他

○その他連絡事項

- ア. 産業廃棄物処理業者セミナーの開催について
- イ. 「ヒヤリ・ハット」事例の収集について
- ウ. KYT研修会の開催について
- エ. 電子マニフェストの普及について
- オ. その他

2. 新規会員の加入促進

会員募集のチラシを産業廃棄物処理業者、排出事業者に配布し、協会の目的、事業内容等を紹介し、産業廃棄物の適正処理について協力を求めるとともに、正会員、賛助会員の加入促進を図った。

3. 他団体との連携

- ① (公社)全国産業廃棄物連合会が行う諸事業並びに各種調査研究事業に、協会役員が

委員として参加するなど、全国産業廃棄物連合会の事業推進に協力した。

- ② (公社) 全国産業廃棄物連合会等主催の「第14回産業廃棄物と環境を考える全国大会」に参加した。

開催日 平成27年11月6日(金)

場 所 ホテルニューオータニ佐賀

内 容 ・環境大臣表彰式典

・基調講演

テーマ：「産業廃棄物処理と海外展開・海外事情」

講 師：山田 正人 氏

((国研) 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター
廃棄物適正処理処分研究室長)

・パネル討論会

テーマ：「大規模災害に備える災害廃棄物対策」

- ③ 関東地域の都県協会と交流を図り、(公社) 全国産業廃棄物連合会を通じて国等に対する要望活動を行うため、産業廃棄物に関する諸問題について協議するため、次のとおり開催した。

・第54回関東地域協議会

開催日 平成27年4月17日(金)

場 所 青山ダイヤモンドホール(東京都港区)

議 事 ・平成26年度関東地域協議会 事業報告

・平成26年度関東地域協議会 収支決算報告

・平成27年度関東地域協議会 事業計画案

・平成27年度関東地域協議会 収支予算案

・次回開催地の決定

講 演 「処理業の業法を含めた振興策の検討に関するタスクフォースの状況等について」

(公社) 全国産業廃棄物連合会 専務理事 森谷 賢 氏

「産業廃棄物処理業界における安全衛生活動について」

(公社) 全国産業廃棄物連合会 安全衛生委員会委員

長谷川 滋 氏

「産業廃棄物行政の現状と今後の展望について」

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部

産業廃棄物課長 角倉 一郎 氏

・第55回関東地域協議会

開催日 平成27年11月27日（金）

場 所 パレスホテル大宮（埼玉県さいたま市）

- 議 事
- ・廃棄物処理法の見直しについて
 - ・処理業の業法を含めた振興策の検討に関するタスクフォースの状況等について
 - ・災害廃棄物の処理について
 - ・次回開催地の決定
 - ・その他

講 演 「産業廃棄物行政の現状と今後の展望について」

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部

産業廃棄物課長 角倉 一郎 氏

- ・ 建設廃棄物対策委員会を開催し、2年に1度の処理料金調査をした。
 - ・ 事務責任者会議（10月、3月）、事務担当者会議（10月）に参加した。
- ④ 一都三県建設混合廃棄物に係る意見交換会等に参加した。（4月、5月、8月、10月）
- ⑤ 医療廃棄物合同懇談会に参加した。（9月）
- ⑥ 一都二県会長会議に参加した。（12月）

4. 顕彰・表彰事業

- ① 会長表彰として、功労者1名、優良事業所1社及び優良従事者7名を第3回定時総会において表彰した。

【功 労 者】 三浦 義博 氏（株エコ・エナジー・ジャパン）

【優良事業所】 株マルトシ （東金市）

【優良従事者】 高梨 敏之 氏（株日美産業）

秋山 由光 氏（高俊興業株）

片岡 国男 氏（千葉興産株）

鈴木 敦子 氏（大平興産株）

種村 聖二 氏（株東亜オイル興業所）

長山 昌弘 氏（株京葉興業）

金田 健一 氏（株共同土木）

- ② 会長表彰として、労働安全優秀賞3社及び労働安全功労者賞1名を第3回定時総会において表彰した。

【労働安全優秀賞】 ジャパン・リサイクル株 千葉事業所（千葉市）

千葉オイレッシュ(株) (君津市)

千代田鋳砕(株) (柏市)

【労働安全功労者賞】 坂口 浩 氏 (千代田鋳砕(株))

- ③ (公社)全国産業廃棄物連合会会長表彰として、優良事業所1事業所、地方優良事業所2事業所、優良従事者6名を推薦し、第5回定時総会において表彰された。

【優良事業所】 (株)NIPPON 千葉合材工場 (千葉市)

【地方優良事業所】 ジャパン・リサイクル(株) (千葉市)

(株)サン・クリーンサービス (千葉市)

【優良従事者】 絹村 政郎 氏 (大平興産(株))

工藤 昌司 氏 (株)小見山商事)

吉田 洋二 氏 (株)京葉興業)

中平 章 氏 (高俊興業(株))

中村 成男 氏 (株)朝田商会)

安池慎一郎 氏 (株)東亜オイル興業所)

- ④ 環境大臣表彰として、循環型社会形成推進功労者(産業廃棄物関係事業功労者)3名を推薦し、「第14回産業廃棄物と環境を考える全国大会」において表彰された。

真田 一伸 氏 (株)朝田商会)

前川 哲夫 氏 (武蔵野建設(株))

碩 孝光 氏 (株)東亜オイル興業所)

5. 定時総会、常任理事会及び理事会等の開催

(1) 第3回定時総会

開催日 平成27年5月29日(金)

場 所 三井ガーデンホテル千葉

出席者 67社 84名、委任状241社、議決権行使書47社

議 事 <議案> 第1号議案 平成26年度事業報告について

第2号議案 平成26年度決算について

第3号議案 任期満了に伴う役員の選任について

<報告> 第1号 公益目的支出計画実施報告について

第2号 平成27年度事業計画について

第3号 平成27年度予算について

以上の議案は、原案のとおり承認された。

(2) 常任理事会、理事会

事業の円滑な執行等を図るため、常任理事会、理事会を開催し、協会の運営並びに当面の諸問題等に関して協議した。

平成27年 5月 8日(金) (理事会に先立ち常任理事会を開催)
5月29日(金)
同日(金) (臨時理事会 会長等選任)
6月24日(水) (理事会に先立ち常任理事会を開催)
7月22日(水) (同上)
9月24日(木) (同上)
10月28日(水) (同上)
11月25日(水) (同上)
12月16日(水)
平成28年 1月28日(木)
3月23日(水)

6. その他事業

(1) 県外視察

千葉県産業廃棄物処理業協同組合と共催で、県外視察研修を実施した。

日程 平成27年11月5日(木)～7日(土)
視察先 ・(有)オー・エス収集センター(熊本市、中間処理・管理型最終処分)
・第14回産業廃棄物と環境を考える全国大会 参加
参加者 27名

(2) 新春講演会、賀詞交歓会

開催日 平成28年1月28日(木)

場所 三井ガーデンホテル千葉

【新春講演会】『産業廃棄物処理とリスクコミュニケーション』

松藤 敏彦 氏(北海道大学大学院工学研究院教授、

(一社)廃棄物資源循環学会会長、工学博士)

【賀詞交歓会】千葉県産業廃棄物処理業協同組合と共催

【庶務事項】

- 平成27年 4月 1日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を千葉県知事と締結
 平成27年 4月10日 電子マニフェスト運用支援業務委託契約を(公社)全国産業廃棄物
 連合会会長と締結
 平成27年 7月27日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を柏市長と締結
 平成27年 7月29日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を千葉市長と締結
 平成27年 8月11日 県内産業廃棄物処理業者育成事業業務委託契約を船橋市長と締結

【 会員の変動状況 】

(平成28年3月31日現在)

種 類	期 首	入 会	退 会	期末現在	増 減
正 会 員	4 1 2	4	4	4 1 2	0
賛助会員	3 3	1	1	3 3	0
計	4 4 5	5	5	4 4 5	0

(正会員内訳)

- 収集運搬のみ 2 2 2社
 中間処理のみ 3 6社
 最終処分のみ 3社
 収運・中間 1 4 3社
 収運・最終 3社
 中間・最終 1社
 収運・中間・最終 4社

【理事等】

(平成28年3月31日現在)

役職	氏名	会社名
会長	石井邦夫	株式会社市川環境エンジニアリング
副会長	杉田昭義	杉田建材株式会社
副会長	小出英昭	株式会社佐倉環境センター
副会長	漢那清松	株式会社カンナ
副会長	菊地通雅	(一社)千葉県産業廃棄物協会
常任理事	石井準一郎	株式会社石井興業
常任理事	鈴木宏和	株式会社京葉興業
常任理事	三本守	株式会社タケエイ
常任理事	山本隆	株式会社日美産業
理事	野村進一	千葉県オイレッシュ株式会社
理事	三浦義博	株式会社エコ・エナジー・ジャパン
理事	麻薙重彦	千種興産株式会社
理事	平澤雅彦	大平興産株式会社
理事	新井隆太	新井総合施設株式会社
理事	大賀実	高俊興業株式会社
理事	大杉仁	ジャパン・リサイクル株式会社
理事	三橋謙一	株式会社東興開発
理事	富澤洋	株式会社富澤商店
理事	加瀬邦雄	株式会社ナリコー
理事	高橋政行	船橋興産株式会社
理事	中村達也	エコシステム千葉株式会社
理事	安池慎一郎	株式会社東亜オイル興業所
理事	池田美恵子	株式会社イケダ
理事	木原稔	(一社)千葉県商工会議所連合会
理事	江口浩	(一社)千葉県環境保全協議会
監事	手島英男	税理士法人 千葉中央会計事務所
監事	腰野義周	千葉産業クリーン株式会社

参考

環境保全対策基金運営委員会

環境保全対策基金は、産業廃棄物の不法投棄等の不適正処理により生じる生活環境への支障を防止し、適正処理の推進に関する事業者・県民の意識高揚を促進し、及び産業廃棄物処理業に対する理解を広めてその健全な育成を図るための財源として設置されている。運営委員会はこの基金の適正かつ効果的な運営を図るために設置されており、次のとおり会議を開催した。

○平成27年度

- 開催日 平成27年12月16日（水）
場 所 ホテルポートプラザちば
議 事 (1) 平成27年度事業の進捗状況について
(2) 平成28年度事業について

【委員】

(平成28年3月31日現在)

役 職	氏 名	所 属 ・ 役 職
委員長	瀧 和 夫	千葉県環境審議会会長、千葉工業大学名誉教授
副委員長	齊 藤 正 昭	(一財)千葉県環境財団 理事長
委 員	木 下 正 明	(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事
委 員	葉 岡 部 循 一	千葉県環境生活部 廃棄物指導課長
委 員	櫻 井 博 幸	千葉県環境生活部 循環型社会推進課長
委 員	杉 田 昭 義	(一社)千葉県産業廃棄物協会 副会長
委 員	小 出 英 昭	(一社)千葉県産業廃棄物協会 副会長
委 員	漢 那 清 松	(一社)千葉県産業廃棄物協会 副会長

青年部会活動報告

青年部会は、処理業界の次代を担う後継者、または会社幹部として自主的な研鑽を重ねるとともに、会員の親睦を目的として55名をもって構成し、会員の増強、組織の拡大、他団体との交流及び積極的な事業実施を期して、以下のとおり活動した。

1. 組織の充実強化

青年部会の組織の充実のため、部会員の加入について協会の理事会、支部会議等または常時協会活動を通じて新規加入の促進を図った。(2名加入)

2. 定時総会

第3回定時総会を平成27年4月24日に開催し、平成26年度事業報告及び収支決算報告、新年度事業計画及び収支予算並びに役員を選任は、原案のとおり承認された。

3. 役員会

役員会を8回開催し、定時総会提案議案の審議及び青年部会の事業運営等について協議した。

4. 委員会

(1) 総務企画委員会

役員選任(案)を作成し、役員会へ提案した。

(2) 研修事業委員会

学習研修、視察研修の検討を行った。

(3) 交流事業委員会

会員の親睦、他団体との交流について検討した。

(4) 公益事業・地域貢献委員会

社会貢献事業の検討を行った。

5. 他都県協会との交流会

(1) 青年部協議会第16回通常総会(東京都)

(2) 第6回スプリングカンファレンス2016(宮城県)

(3) 関東ブロック第11回通常総会(神奈川県)

(4) 災害廃棄物処理に係るボランティア事業(茨城県常総市)

(5) 関東ブロック賀詞交歓会(埼玉県)

(6) 神奈川県産業廃棄物協会青年部設立20周年記念行事(神奈川県)

6. 研修会等

(1) 「ビジネスや日常生活で役立つウソ（人間心理）の見抜き方」

講師：(株)Clearwoods 代表取締役 森 透匡 氏

(2) 「協会杉田副会長、小出副会長との意見交換」

(3) 県外視察

- ・(有)オー・エス収集センター（熊本県）
- ・第14回産業廃棄物と環境を考える全国大会（佐賀県）

7. 社会貢献事業

青年部会員による「ポイ捨てゴミクリーン活動」を船橋市内で実施した。また、一般公募により参加者を募り、「親子でウォークラリー環境学習体験会」を船橋市内にて開催した。

実施内容 (1) ポイ捨てゴミクリーン活動

- ・ふなばし三番瀬海浜公園周辺道路

(2) 親子でウォークラリー環境学習体験会

(詳細は「I-5-(2)社会貢献」の記載を参照)

8. 千葉県中小企業団体青年中央会

総会、その他関連行事等に参加した。

女性部会活動報告

女性の視点からみた「環境」「廃棄物業界」「リサイクル」についての課題を協会に提案するとともに、部会員相互で情報交換してお互いの知識向上、親睦を図ることを目的として11名で構成している。

また、他団体との交流及び積極的な社会貢献活動実施を期して、以下のとおり活動した。

1. 組織の充実強化

女性部会の組織の充実のため、部会員の加入について協会の理事会、支部会議等または常時協会活動を通じて新規加入の促進を図った。

2. 女性部会

女性部会を7回開催し、イベント出展の準備、現在抱えている産業廃棄物問題についての話し合い、情報交換等を行った。

3. 施設見学会

- ・ J F E スチール(株)東日本製鉄所 (千葉市中央区)
- ・ ジャパン・リサイクル(株) (千葉市中央区)

参加者 12名 (内、女性部会9名)

4. 社会貢献活動

「エコメッセ 2015in ちば」で廃油を使ったキャンドル作りを来場者に紹介した。

5. 他都県協会との交流会

- (1) 東京都協会女性部主催で行われた関東地域交流会に参加した。
- (2) 「e-Lady21 のつどい」(佐賀)に参加した。